

今日は、私の着任からこれまでの活動を報告いたします。

まだ発表に慣れていないのですが、よろしくお願いいたします。

1. 着任と研修について（6月）

6月12日に、市川市少年補導員退任式・委嘱式と連絡協議会総会に参加いたしました。

ここで、新任補導員として正式に着任しました。

総会では、補導員の皆さんのこれまでの活動報告を聞き、
地域の子どもたちを守る大切さを改めて感じました。

その後、6月25日に新任補導員研修会に参加しました。

研修の内容は、

- 補導員の規定や会則の詳しい説明
- 先輩補導員による声掛け運動の実演
- 千葉県警少年課の京葉地区少年センター職員から市川市の少年非行の現状についてのお話

特に、スマホの普及によるネットトラブルが増えている点が印象的でした。

SNSやオンラインゲームを通じての被害が多く、

子どもたちが知らない人とつながってしまうケースが多いそうです。

対策として、ネットリテラシー（ネットの正しい使い方）と個人情報の扱いを、

学校や家庭で繰り返し注意を促すことが大事だと言われました。

また、各家庭でのルール作り、例えば「夜9時以降はスマホ禁止」みたいな具体的なルールが有効だそうです。

この研修で、補導員の役割が声掛けだけでなく、予防教育も大事だと学びました。

2. パトロール活動について（7月～10月）

次に、実際のパトロール活動です。

夏のイベントを中心に、子どもたちの安全を見守りました。

- 7月20日：柏井小学校

- 7月26日：駒形神社

- 8月23日：大柏小学校

それぞれの納涼盆踊り大会で祭礼パトロール

- 10月8日：市内一斉地区補導で、大柏小周辺をパトロール。

学校周辺の路地や公園を重点的に回り、特に問題はありませんでした。

また、大町小周辺のパトロールも日程未定ですが、予定しています。

見回る場所について聞かれた時に、

市営団地周辺を候補として提案しました

団地は子どもが比較的多いので有効だと思います。

ただ他に見回ったほうが良い場所、例えば公園や通学路の暗いところなど、

ありましたら、ぜひ教えてもらえると助かります。

みなさんの経験を参考にしたいと思います。

よろしくお願いいたします。

3. 研修・講演について（9月～10月）

続いて、研修や講演で学んだことです。

9月27日、千葉県青少年補導委員大会に参加しました。

元プロ卓球選手の岸田先生による記念講演「ベップトークについて」がありました。

ベップトークとは、アメリカンフットボールで使われる、自分や仲間を励ます短い言葉のことです。

WBCでの大谷翔平選手の言葉「憧れるのをやめましょう」を例に挙げて、

家庭やビジネスシーン、教育現場でどう活用するかを詳しく説明してくださいました。

子どもたちに「君ならできるよ!」とポジティブに声をかけることで、

非行防止につながるかも、と思いました。

10月22日、市川市補導員連絡協議会に参加しました。

法務省の保護観察官を講師に迎えて、「少年犯罪の動向」についての研修がありました。

市川市は千葉県内で少年犯罪発生数 第2位だそうです。

大半は自転車の無灯火、整備不良、二人乗り、信号無視などの軽い違反です。

人口が多く繁華街もあるのに、比較的安全と言えるそうです

全国的に少年犯罪自体は減少傾向でこれは少子化の影響もあるそうです

しかし、深刻な問題も2つ挙げられました。

1つ目は薬物違反・乱用、特に大麻です。

- 覚せい剤の質が下がったことと、大麻の手に入りやすさから、使用者が激増中
- 例えば成績もよく、生活態度もまじめで部活も積極的な高校生が、自宅のガレージで使用していたケースもあるそうです
- 法律が変わり、今は使用だけでも逮捕されるようになりました

→ 対策として、子どもたちの行動を注意深く観察することが必要です。
例えば、急に元気がなくなったり、隠し事が増えたりするサインに気づくこと。

2 つ目は闇バイト、つまり電話 de 詐欺などの特殊詐欺への加担です。

- 受け子・出し子、銀行口座の売買、携帯電話の名義貸しなど
- 多くは友達に誘われたり、先輩から頼まれて断れなくて手を染める
- Indeed やタイミーなどの大手のバイトアプリで偽装募集も
- 連絡ツールは Telegram や Signal のような秘匿性の高い海外アプリが多い
- 薬物や窃盗は初犯なら保護観察で済むことが多いですが、
特殊詐欺は少年院送致になり、被害額の全額を弁済（逮捕された人数で分担、未成年は親が負担）

→ ハイリスクでノーリターンであることを子どもたちに啓蒙すべきです。
また、少しでもおかしいと思ったら周りの大人に相談するよう促すこと。
そのために、普段から話しやすい環境作りが大事だと痛感しました。

この研修で、犯罪の背景を知り、予防の重要性を再認識しました。

4. ブロック会議について（11 月 4 日）

最後に、11 月 4 日の市川市少年補導員ブロック会議について。

会場は柏井小学校で、補連協会長、少年センター職員、五中ブロックの校長先生、教頭先生、生活指導の先生などが参加されました。

少年センター職員からの五中ブロック少年補導状況の説明では、

- 主な問題は自転車危険走行 無灯火 並走 蛇行など
- 不審者情報：
- 昨年 1 件だったのが、今年 10 月までで 10 件に増加
- 分析によると、不審者が急に増えたわけではなく、児童生徒の防犯意識が向上して、
今まで見過ごしてきたケースの通報が増えたと思われるそうです

五中の生活指導の先生からの補足では、

- 声掛け・付きまといの 2 件：人物を特定して、学校職員からお願いベースで注意をし、解決済み
 - 下校途中の女子中学生が、20 代ぐらいの男に道案内を頼まれ、途中で腕や足を触られ、動画を撮られるという事例
- 通報済みですがまだ捕まっておらず引き続き注意が必要

→ 不審者対策の有効な手段として、

- 自宅近くの民家に逃げ込むより、コンビニや商店のような特定されにくい場所へ
- 反対方向に逃げる

また、中学生による喫煙や飲酒の報告もあるそうです。

- 入手先はコンビニが多く、高校生や外国人のバイトで確認が甘くなるケース
- その情報が SNS などでも共有されることも
- 学校としても、周辺のコンビニ店に販売をしないよう再三お願いをしているのですが、どうしても徹底しにくいそうです

この会議で、地域全体の連携の大切さを学びました。

5. 今後の活動について

今後の活動としては、

- 大町小周辺のパトロール（市営団地候補を中心に）
 - ネットトラブル、薬物、闇バイトのリスク啓発
 - 学校・保護者・補導員の連携強化
- を重点的に進めていけたらと思います。

特に見回り場所について、

市営団地周辺以外で

「ここを見てほしい」「見回ったほうが良い」と思う場所がありましたら、
ぜひご意見をお聞かせください。

よろしくお願いいたします。

以上です

ありがとうございました。